

ファイヤーストーム

自然体験



ねらい	集団の団結力を高めます ふりかえりの効果を高めます
対象	幼児から大人まで
人数	何人でも
時間	30分～1時間程度
場所	体育館、屋外
準備	板材、トーチ、バケツ（5個程度）、おがくず、CD 体育館：レンガ台、防火マット、ファイヤープレイス 屋外：半割薪、営火台セット

事前準備

●係分担

- ・司会者（1名） つどい全体の進行をします。
- ・火の神（1名） 聖火を持って入場し、初めや終わりのあいさつをします。
- ・点火者（数名） 火の神からトーチ棒に火をもらい、点火します。

●準備物や設備等の確認

- ・営火台を所定の場所に設置し、板材や半割薪をおがくずのまわりに組みます。
- ・バケツに水を張り、周辺に置きます。
- ・トーチは灯油がはいっているので横にせず、立てておきます。
- ・音量調節や音楽の再生方法、点火から消火までの流れを確認します。
- ・排煙ダクトを限界まで下げ、排気のスイッチを確認します。（屋内の場合）

実際の活動

●展開例

- ・入場
- ・はじめの言葉
- ・火の神入場
- ・火の神の言葉
- ・誓いの言葉 文火
- ・点火
- ・出し物 フォークダンス 合唱 …etc…
- ・火の誓い（感想発表）
- ・火の神の言葉
- ・おわりの言葉

●後片付け

- ・燃え残った薪は、営火台（またはファイヤープレイス）から水の張った一輪車に移し、完全に鎮火させます。
- ・一輪車の薪は、翌日の朝に水きりかごで水を切り燃えるゴミとして処分します。
- ・台は冷めてから元のところへ戻します。（翌朝で構いません）
- ・トーチやバケツなどは、工作広場の隅の場所に片付けます。



留意点

- 廊下でトーチに火をつけると、煙に反応し火災報知機が作動してしまうので、プレイホール内で点火ください

